

動物実験に関する自己点検・評価報告書

和洋女子大学

平成 28 年 3 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」「和洋女子大学動物実験等管理規程実施細則」 (機関内規程改正案)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 平成 26 年 6 月に「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針 (以下基本指針という)」 に準じて制定した機関内規程「和洋女子大学動物実験等管理規程」並びに「和洋女子大学動物実験等 管理規程実施細則」について、研究機関の長の責務について明確する等、平成 27 年度中に改正案を 作成し、学内承認を得た。
4) 改善の方針、達成予定時期 研究機関の長の責務を明確に表現した機関内規程は、平成 28 年 2 月末に学内承認、平成 28 年 4 月 1 日改正施行となる。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input checked="" type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」「和洋女子大学動物実験等管理規程実施細則」(機関内規程 改 正案)「和洋女子大学動物実験委員会名簿」(平成 28 年度案)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 平成 26 年 6 月に基本指針に準じた機関内規程を制定し、動物実験委員会を設置した。委員会の構成 の「動物実験及び実験動物等に関して優れた識見を有する者 2 名以上」を、基本指針に沿った「動物 実験等に関して優れた識見を有する者」、「実験動物に関して優れた識見を有する者」をそれぞれ分け て規定するよう、平成 27 年度中に細則の修正案を作成し、学内承認を得た。
4) 改善の方針、達成予定時期 委員会の構成について修正した細則は、平成 28 年 2 月末に学内承認、平成 28 年 4 月 1 日改正施行と なる。

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」「和洋女子大学動物実験等管理規程実施細則」(機関内規程 改正案)「動物実験計画書」「動物実験委員会審査報告書」「動物実験委員会審査結果通知書」 「研究結果概要報告」(様式 修正案)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 機関内規程に、動物実験計画書の立案、審査、承認の実施体制を定めているが、現行規程および細則では動物実験計画書の提出先が実験動物管理者、動物実験計画の承認を動物実験委員会が行うと定めており、基本指針と齟齬があった。さらに、変更・中止、結果報告の実施体制について定めておらず、平成 27 年度中に規程並びに細則の改正案を作成し、学内承認を得た。
4) 改善の方針、達成予定時期 平成 27 年度中に、規程及び細則改正案を作成し、学内承認を得た。平成 28 年 4 月 1 日改正施行となる。あわせて「動物実験計画書」「研究結果概要報告」の提出先を動物実験委員会委員長から学長へ修正、「動物実験委員会審査結果通知書」を「動物実験計画書審査結果通知書」に名称変更し、通知者も動物実験委員会委員長から学長へ変更する等、関係様式の修正を行った。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期 平成 27 年度中に「遺伝子組換え実験安全管理規程」案が承認され、平成 28 年 4 月 1 日制定施行されるが、P1 レベルの物理的封じ込めを必要とする実験に限るため、ここでいう動物実験には該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」「和洋女子大学動物実験マニュアル」(改正案)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 機関内において実験動物の飼養保管施設は把握されており、実験動物管理者も置いている。平成 26 年 10 月に「和洋女子大学動物実験マニュアル」を定めている。逸走の予防および逸走時の対応について追記するよう平成 27 年 4 月改正した。さらに承認について委員会承認から学長承認とするよう 27 年度中に改正案を作成した。
4) 改善の方針、達成予定時期 平成 28 年 4 月に「和洋女子大学動物実験マニュアル」を改正する。

6. その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

(1) 平成 26 年度公私立大学実験動物施設協議会主催の研修会「実験動物管理者の教育訓練」及び「動物実験委員会の教育訓練」に参加した教員を講師とし、動物実験教育訓練を 6 月 30 日に実施し、本学 HP にて情報公表を行った。
(2) 公私立大学実験動物施設協議会主催の平成 27 年度第 1 回研修会「実験動物管理者の教育訓練」に動物実験に関する事務部署の担当者が参加した。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」「和洋女子大学動物実験等管理規程実施細則」(機関内規程)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たし、適正に機能している。
4) 改善の方針、達成予定時期

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」「和洋女子大学動物実験等管理規程実施細則」(機関内規程 改正案)「動物実験計画書」「動物実験委員会審査報告書」「動物実験委員会審査結果通知書」「研究結果概要報告」(様式 修正案)
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験責任者が立案した動物実験計画を動物実験委員会で審議し、その結果を学長に報告後承認している。また、動物実験責任者は実験終了後に結果を報告している。しかし、「動物実験計画書」「研究結果概要報告」の提出先が学長ではなく動物実験委員会委員長、承認の通知を学長ではなく動物実験委員会が「動物実験委員会審査結果通知書」で実施していたため、平成 27 年度中に機関内規程の改正案、様式修正案を作成した。
4) 改善の方針、達成予定時期 平成 27 年度中に、規程及び細則の改正案は学内承認済み、平成 28 年 4 月改正施行。あわせて各種様式変更を行い、平成 28 年度より使用する。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)
4) 改善の方針、達成予定時期

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 平成 27 年 4 月に「和洋女子大学動物実験マニュアル」を改正し、「和洋女子大学動物実験マニュアル」に規程に逸走の予防および逸走時の対応を明確に示した。また、飼養保管について管理記録を残すよう明記し、適正に実施している。平成 27 年 6 月 30 日には、動物実験責任者、実施者を対象に学内教育訓練を実施し、規程、マニュアル等を周知徹底した。
4) 改善の方針、達成予定時期

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 施設内への実地検分調査と清掃記録と記録写真
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 年 1 回動物飼育室の清掃及び消毒を実施、報告書を作成し管理できている。 昨年度の評価を受け室内の物品の配置および適切な表示について一部改善した。
4) 改善の方針、達成予定時期 基本方針や基準には適合しているが、更により良くなるよう平成 28 年度中に改善を行う。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 機関内規程に動物実験責任者及び動物実験実施者は教育訓練を受けなければならないと定めている。 平成 26 年 10 月に公私立大学実験動物施設協議会主催の教育訓練を受講した教員 2 名を講師とし、動物実験に関わる学内の教職員対象に平成 27 年 6 月 30 日に学内で教育訓練を実施した。学生は別に授業内で教育を行っている。今後は学生と教職員との合同の教育訓練の実施についても検討する。
4) 改善の方針、達成予定時期 学生も含めた開催について検討する。

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「和洋女子大学動物実験等管理規程」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針に準じた自己点検・評価を行い、機関のホームページ上で情報公開を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

(1) 平成 27 年度動物実験の実施における自己点検・調査に関する報告書集計 別紙 1 表 1
(2) 平成 27 年度動物実験実施結果 別紙 1 表 2
(3) 動物実験に関する検証における指摘事項とその改善について 別紙 2 表 3

表 1 平成 27 年度動物実験の実施における自己点検・調査に関する報告書集計

部局名	動物実験計画書の審査		動物実験従事者 及び飼養者数	飼養保管施設 の設置状況	飼養保管施設 から独立した 実験室
	許可件数	不許可取り 下げ数			
健康栄養学類	4	0	7 + 学生 152	4	1
合計	4	0	7 + 学生 152	4	1

表 2 平成 26 年度動物実験実施結果

所属	動物種	飼養数
健康栄養学類	ラット	56
	マウス	74
合 計	ラット	56
	マウス	74

表 3 平成 26 年度動物実験に関する検証結果報告書での指摘事項および平成 27 年度での改善状況

	指摘事項	改善状況
I. 規程及び体制の整備		
1. 機関内規程	・基本指針に基づいた学内規程の改正	平成 27 年度中に改正案策定、学内承認済み。 平成 28 年 4 月 1 日改正施行する。
2. 動物実験委員会	・基本指針に基づいた学内規程の改正	平成 27 年度中に改正案策定、学内承認済み。 平成 28 年 4 月 1 日改正施行する。
3. 動物実験の実施体制	・基本指針に基づいた学内規程の改正	平成 27 年度中に改正案策定、学内承認済み。 平成 28 年 4 月 1 日改正施行する。
5. 実験動物の飼養保管の体制	・マニュアルの改正、周知徹底のための教育訓練の実施	平成 27 年 4 月にマニュアルを改正、周知を図るための教育訓練を 6 月 30 日に実施した。
II. 実施状況		
1. 動物実験委員会	委員会がより適正に機能するため、「動物実験に等に関して優れた識見を有する者」「実験動物に関して優れた識見を有する者」の委員追加	平成 27 年度中に改正案策定、学内承認済み。 平成 28 年 4 月 1 日改正施行する。 「動物実験及び実験動物等に関して優れた識見を有する者 2 名以上」の表記を修正し、個別の役割を明確にし、翌年度委員も規程に合わせた人材を選出した。
2. 動物実験の実施状況	規程及び細則の改正と各種様式変更	平成 27 年度中に改正案策定、学内承認済み。 平成 28 年 4 月 1 日改正施行する。 各種様式も修正し、平成 28 年度より使用する。
4. 実験動物の飼養保管状況	平成 27 年 4 月中のマニュアル改正、実験責任者・実施者への周知徹底	平成 27 年 4 月マニュアル改正し、6 月 30 日に学内教育訓練を実施し、関係者に周知徹底した。
5. 施設等の維持管理の状況	室内の物品の配置及び適切な表示	
6. 教育訓練の実施状況	平成 27 年度の早い段階での学内での訓練の実施	平成 27 年 6 月 30 日、学内で教育訓練を実施、ホームページに情報公開した。
8. その他	実験に従事した学生・大学院生含めて集計すること	自己点検の集計表で、学生数がわかるようにした。